海岸線:

海への敬意

私たちの間違いの多くは
人生が永久に続くかのように思い込むこと

海は、向かいくる波に粉々にされるような過ち
を二度としない

私たちは愚かにも、足元から自分自身を崩し去る
頑な心を解きほぐし、流動的で自由な心を見つけ
何にも邪魔されない自由な心と透明さに気づけ
数え切れないほどの内なる涙が、
本能的な願いを叫び続けている

ミン: こんなたわごとを読むこと自体、問題だね

ティン: 愚かな考えなんかじゃないわ。ただ海への賛美よ。

玲亜: 人が馬鹿げた事と決め付けるのは、実は不確かさの裏返しね。

ミン: 勘弁してよ、海となるとなぜ宗教的になるの。

ティン: それのどこが問題なの。

悟: ええ、でも海は単なる海です。

ティム: たぶん私たちは、全てのものを神聖視する必要がありますね。
人間は、仕事やお金そして家族に対して宗教的すぎる。でも海は
そんなくだらないものを、神聖視したりしない。

玲亜: おそらく、私たちは心の中に神聖視するものが必要なんだわ。それは、
今、人々の生活に神聖な心が無いも同然となってしまったから。

- T Newfields (和訳: 樋谷麻由)

開始: 19966年 静岡市 完成: 2012年 東京